



2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月8日

東

上場会社名 住友ベークライト株式会社 上場取引所
 コード番号 4203 URL http://www.sumibe.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 植田 毅 (TEL) 03(5462)4111

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	71,733	14.5	6,855	2.8	6,732	2.3	6,348	△8.0	4,711	△10.2
2022年3月期第1四半期	62,662	43.5	6,668	180.2	6,580	254.6	6,903	185.6	5,244	182.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	100.11	—
2022年3月期第1四半期	111.43	—

(注) 「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	377,295	246,969	244,726	64.9
2022年3月期	370,836	232,136	229,784	62.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	10.2	28,500	7.6	21,000	14.8	446.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	49,590,478株	2022年3月期	49,590,478株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,535,178株	2022年3月期	2,534,727株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	47,055,512株	2022年3月期1Q	47,057,420株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な会計方針)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)における経済環境は、新型コロナウイルス感染者数が世界的に減少傾向を示すなか防疫と経済活動の両立が進みました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中国のゼロコロナ政策によるロックダウンなどの影響により資源価格の高騰や供給網の混乱は当期も継続しました。また米国の金利上昇による急速な円安・ドル高が進行しました。

この様な情勢のもと、当社グループの売上収益は、前年同期と比べ14.5%増(以下の比率はこれに同じ)の717億33百万円となりました。損益につきましては、事業利益は、2.8%増の68億55百万円、営業利益は、2.3%増の67億32百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、10.2%減の47億11百万円となりました。

(セグメント別販売状況)

① 半導体関連材料

[売上収益 21,248百万円(前年同期比 21.6%増)、事業利益 4,539百万円(同 22.5%増)]

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、パソコンや中国製スマートフォンなど民生用の需要が減少する一方で、車載向けの復調や活発なデータセンター投資などにより半導体の需要は増加が継続したこと、原料価格上昇に伴う価格改定を実施したこと、円安が進行したことにより売上収益は増加しました。

感光性ウェハーコート用液状樹脂は、主要用途であるメモリー需要が好調で売上収益は増加しました。

半導体用ダイボンディングペーストは、顧客での在庫調整により売上収益は前年同期並みで推移しました。

半導体パッケージ基板材料「LαZ®」シリーズは、中国市場のスマートフォン需要が減少したことで売上収益は減少しました。

② 高機能プラスチック

[売上収益 25,889百万円(前年同期比 12.0%増)、事業利益 1,127百万円(同 44.0%減)]

工業用フェノール樹脂およびフェノール樹脂成形材料は、世界的な半導体不足やサプライチェーンの混乱により自動車生産台数が減少したため自動車用途向けは販売数量が減少しました。また中国でのロックダウンなどにより電子部品向けも販売数量が減少しました。一方で原料価格上昇に伴う価格改定を実施したこと、円安が進行したことにより売上収益は増加しました。

銅張積層板は、原料価格上昇に伴う価格改定を実施したこと、円安が進行したことにより売上収益は増加しました。

航空機内装部品は、主要顧客である米国航空機メーカーの販売不振継続の影響を受けましたが、円安が進行したことにより売上収益は増加しました。

③ クオリティオブライフ関連製品

[売上収益 24,424百万円(前年同期比 11.4%増)、事業利益 2,042百万円(同 11.7%増)]

医療機器製品は、北米ではコロナ禍からの回復や新規顧客の開拓により出荷が好調に推移したこと、台湾では高付加価値品である白血球除去フィルター付き血液バッグの供給を開始したこと、国内では手術件数の回復や新製品の胆管ステントの販売が伸長したことにより売上収益は増加しました。

バイオ関連製品は、3次元培養器など創薬や再生医療研究で使われる高機能細胞培養器材の販売が国内外で増加したこと、急性膵炎や骨粗鬆症など非感染症領域の診断薬の販売が好調であったことから売上収益は増加しました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医薬品包装用途ではジェネリック医薬品メーカー向けの販売が好調に推移したこと、食品包装用途では既存品の回復に加えバイオマス原料を積層した環境対応製品の販売が好調に推移したことにより売上収益は増加しました。

ポリカーボネート樹脂板および塩化ビニル樹脂板は、医療関連機器や工業用搬送機の外装材等は好調に推移しましたが、印刷材やサイン・店装用途はコロナ影響による需要低迷により売上収益は減少しました。

防水関連製品は、住宅新築向け屋根防水および蓄熱層断熱防水の受注増加により売上収益は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(2.1) 資産、負債および資本の状況

①資産の部

資産合計は、前連結会計年度末に比べ64億59百万円増加し、3,772億95百万円となりました。

主な増減は、棚卸資産および有形固定資産の増加と、現金及び現金同等物の減少であります。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ83億75百万円減少し、1,303億26百万円となりました。

主な増減は、コマーシャル・ペーパーの償還による減少であります。

③資本の部

資本合計は、前連結会計年度末に比べ148億33百万円増加し、2,469億69百万円となりました。

主な増減は、四半期利益の計上および為替変動影響による増加と、配当金の支払による減少であります。

(2.2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金および現金同等物（以下、資金）は、前連結会計年度末に比べ95億43百万円減少し、996億73百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は30億60百万円となりました。

これは主に、税引前四半期利益および減価償却費の計上による収入と、棚卸資産の増加による支出の結果であります。前年同期と比べると32億14百万円の収入の減少となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に用いた資金は50億46百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出と、定期預金の預入による支出の結果であります。前年同期と比べると21億46百万円の支出の増加となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に用いた資金は145億10百万円となりました。

これは主に、コマーシャル・ペーパーの償還による支出と、配当金の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると100億1百万円の支出の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	109,217	99,673
営業債権及びその他の債権	59,414	62,239
その他の金融資産	47	1,883
棚卸資産	50,276	56,294
その他の流動資産	4,337	5,499
流動資産合計	223,291	225,589
非流動資産		
有形固定資産	101,456	104,494
使用権資産	6,963	8,323
のれん	1,260	1,315
その他の無形資産	2,488	2,440
その他の金融資産	27,539	27,319
退職給付に係る資産	5,500	5,514
繰延税金資産	2,211	2,199
その他の非流動資産	128	101
非流動資産合計	147,546	151,706
資産合計	370,836	377,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	35,155	24,233
営業債務及びその他の債務	56,316	57,094
その他の金融負債	1,422	1,903
未払法人所得税等	3,241	3,258
引当金	200	194
その他の流動負債	776	529
流動負債合計	97,110	87,212
非流動負債		
借入金	23,467	24,040
その他の金融負債	3,578	4,515
退職給付に係る負債	4,148	4,394
引当金	1,235	1,281
繰延税金負債	8,592	8,352
その他の非流動負債	571	532
非流動負債合計	41,591	43,114
負債合計	138,701	130,326
資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,137	35,137
自己株式	△6,794	△6,796
その他の資本の構成要素	24,915	37,971
利益剰余金	139,383	141,270
親会社の所有者に帰属する持分合計	229,784	244,726
非支配持分	2,352	2,244
資本合計	232,136	246,969
負債及び資本合計	370,836	377,295

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	62,662	71,733
売上原価	△42,966	△51,046
売上総利益	19,695	20,687
販売費及び一般管理費	△13,027	△13,832
事業利益	6,668	6,855
その他の収益	21	82
その他の費用	△110	△205
営業利益	6,580	6,732
金融収益	405	493
金融費用	△81	△877
税引前四半期利益	6,903	6,348
法人所得税費用	△1,568	△1,522
四半期利益	5,335	4,826
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,244	4,711
非支配持分	91	115
四半期利益	5,335	4,826
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	111.43	100.11
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	5,335	4,826
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動額	△889	△625
確定給付制度の再測定	△2	—
純損益に振替えられることのない項目合計	△891	△625
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	15	△22
在外営業活動体の換算差額	581	13,879
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	596	13,857
税引後その他の包括利益	△295	13,232
四半期包括利益	5,041	18,058
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,919	17,767
非支配持分	122	290
四半期包括利益	5,041	18,058

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

変動項目	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素				非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動額	確定給付制度の再測定	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計		
当期首残高	37,143	35,137	△6,785	124,052	10,431	—	△111	338	10,658	1,936	202,141
四半期利益	—	—	—	5,244	—	—	—	—	—	91	5,335
その他の包括利益	—	—	—	—	△889	△2	15	551	△325	30	△295
四半期包括利益	—	—	—	5,244	△889	△2	15	551	△325	122	5,041
剰余金の配当	—	—	—	△2,118	—	—	—	—	—	△159	△2,276
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—	—	—	—	—	△1
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	147	△149	2	—	—	△147	—	—
所有者との取引合計	—	—	△1	△1,970	△149	2	—	—	△147	△159	△2,277
四半期末残高	37,143	35,137	△6,786	127,325	9,393	—	△96	889	10,186	1,900	204,905

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

変動項目	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素				非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動額	確定給付制度の再測定	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計		
当期首残高	37,143	35,137	△6,794	139,383	9,852	—	△52	15,114	24,915	2,352	232,136
四半期利益	—	—	—	4,711	—	—	—	—	—	115	4,826
その他の包括利益	—	—	—	—	△625	—	△22	13,704	13,057	175	13,232
四半期包括利益	—	—	—	4,711	△625	—	△22	13,704	13,057	290	18,058
剰余金の配当	—	—	—	△2,823	—	—	—	—	—	△399	△3,222
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	—	—	—	—	—	△2
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引合計	—	—	△2	△2,823	—	—	—	—	—	△399	△3,224
四半期末残高	37,143	35,137	△6,796	141,270	9,227	—	△74	28,818	37,971	2,244	246,969

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,903	6,348
減価償却費及び償却費	3,313	3,494
受取利息及び受取配当金	△353	△493
支払利息	81	83
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△761	△1,024
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	768	△457
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,601	△3,404
その他	△274	△264
小計	8,076	4,284
利息の受取額	79	189
配当金の受取額	267	531
利息の支払額	△70	△70
法人所得税の支払額	△2,080	△1,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,274	3,060
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,191	△3,223
有形固定資産の売却による収入	3	2
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	447	—
定期預金の預入による支出	—	△1,806
その他	△154	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,900	△5,046
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	36	△36
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△2,000	△11,000
長期借入金の返済による支出	—	△2
リース負債の返済による支出	△268	△247
配当金の支払額	△2,118	△2,823
非支配持分への配当金の支払額	△159	△399
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,509	△14,510
現金及び現金同等物に係る換算差額	190	6,952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△945	△9,543
現金及び現金同等物の期首残高	103,175	109,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	102,230	99,673

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業を区分し、生産・販売・研究を一体的に運営する事業部門制を採用しております。各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、主に事業部門を基礎とした製品・サービス別の事業セグメントから構成されており、これらの事業セグメントを基礎に製品の市場における主要用途および事業の類似性を勘案し、「半導体関連材料」、「高機能プラスチック」、および「クオリティオブライフ関連製品」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主な製品およびサービスの内容は次のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板、航空機内装部品
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品・医薬品、メラミン樹脂化粧板・化粧シート、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ関連製品

(2) セグメント収益および業績

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリティ オブライフ 関連製品				
売上収益							
外部顧客への売上 収益	17,477	23,113	21,926	146	62,662	—	62,662
セグメント間の内部 売上収益または振替高	—	38	0	—	38	△38	—
計	17,477	23,151	21,926	146	62,700	△38	62,662
セグメント損益 (事業利益)(注) 1	3,704	2,011	1,828	△2	7,541	△873	6,668

(注) 1 セグメント損益(事業利益)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 「その他」の区分は、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

3 セグメント損益(事業利益)の調整額△873百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△874百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリティ オブライフ 関連製品				
売上収益							
外部顧客への売上 収益	21,248	25,889	24,424	171	71,733	—	71,733
セグメント間の内部 売上収益または振替高	—	40	0	—	40	△40	—
計	21,248	25,929	24,425	171	71,772	△40	71,733
セグメント損益 (事業利益)(注) 1	4,539	1,127	2,042	49	7,757	△902	6,855

(注) 1 セグメント損益(事業利益)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 「その他」の区分は、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

3 セグメント損益(事業利益)の調整額△902百万円には、セグメント間取引消去25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△927百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

セグメント損益から税引前四半期利益への調整は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
セグメント損益	6,668	6,855
その他の収益	21	82
その他の費用	△110	△205
営業利益	6,580	6,732
金融収益	405	493
金融費用	△81	△877
税引前四半期利益	6,903	6,348